

本屋でのおすすめ 2015. Dec.

にゃら版

やんわり月刊。

No. 14

エッセイって、
面白い!

Take Free



にゃら版は文芸フェスのサポーターです!

「エッセイって読んでみたいけど、

どゆかエッセイがわからぬな...」

ある日のこと、こんな↑つばやまが「売場から聞こえてきたのです。そんな声を聞くのがすかえず」**キャー——ッチ!!**

そうだよねえ。本棚を見ても

どゆかエッセイがなしてわから

ない... (ほくもわからぬい!!) (笑)

そこで「今回はエッセイを探して

みたよ。普段読まない人も

ぜひ。他人の考えることは面白い!!



まにまに

西加奈子著 KADOKAWA ¥1300+税

「自分にはこんなに好きなものがあ

た「どうか?」と自問してしまうほど、

西サンの好きなものが「たくさつまってます!

何よりも本や音楽が大好きなの」と感じ

る一冊。本の紹介もいっはのいこす!!

色あせた写真に、再び

色が宿るかのよう



人々の言葉で

ジュン・ラヒリ著 新潮社 ¥1600+税
中嶋浩郎訳

もし、あなたが40歳を過ぎて、

何かをはじめるとする

それが「今、自由自在に

使っている言語を離れる

ことだ」としたら....

それにはどのくらいの

勇気が必要だ「う...?



人類のためだ

藤島大著 鉄筆 ¥1600+税

本を開いたた「けど、「男」を感じろ

ラグビーエッセイ!

「少年をいち早く男に育て、

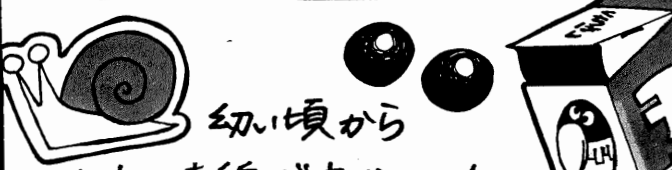
男にいつまでも少年の

魂を抱かせろ」

という定義が「印象的!

かあ、こい、こい、こい!!

単なるスポーツエッセイではないよ! この本!



幼い頃から

写真家の素質が「充分あった」と

思わせるほど、著者の女体は

「その場」の情景を鮮明に描く。

色あせた写真に、再び

色が宿るかのよう

長島有里枝著 講談社文庫

¥800+税

背中の記憶

今日一休みを見た

角田光代著 KADOKAWA ¥1100+税

に上る、ホワ、にゆる、はか、の

憧れの「猫との生活」を手に入れた

角田さんの楽しい擬音

たっぷりのネコエッセイ

「猫のような女」って、

もし近くに存在したら、

私、もう×××だ!と思う。

(本人談)



(はじめに、「著者(自己)紹介」を見てほしい。
その時点で「すでに「朝井リョウ」という
人の面白さが」出ちゃってさっ!!

「類は友を呼ぶ」

著者も面白いが

著者の周りもすっばる面白い

朝井リョウ著 文春文庫 ¥550+税

詩をかけるゆい

人生劇場

三浦しをん著 新潮文庫 ¥520+税

フツフツと難しいのっ!

しをんさんの変な方向への
情熱...時には本について、

時には「胸毛」について
熱く熱く語りまっす!

思い出

ホロホロ...

思い出

ホロホロ...



俺だって子供だ!

宮藤官九郎著 文春文庫 ¥790+税

子供嫌いのクドカンに子供が「生まれ

ちゃったからもう大変!!

本編も笑えるけど、巻末の

「盗聴対談」は

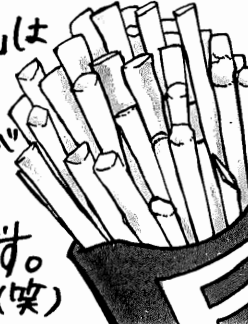
まるこ

その光景が

見える

ようこそ。

(笑)

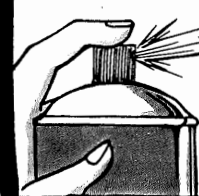


ねにもつた

岸本佐知子著 ちくま文庫 ¥600+税

この人変!!...と言いたくはないけど、あなた
にもいよかったらどうですか? 大親友のような
タオレやクッション、子供ならびの盛大な
カン干がい...のうーん...。

ごも、せっは



変!!

Snigu

Mnigu

Lnigu

てんすけのかいぬし

文章に長けている人が「書くと、日常が」
この上にも面白く切りとらぬのか」と
普段読まないエッセイを読んで「気づき
まじい」でも、冷静に読み進めると、
作家や芸能人が「必ずしも「特別」では
なく、「そういう職業の人なのであって、私
達と同じような生活をし、楽しんで」
悲しいことには安心するのではな
か、みなさまの1年はどうだったでしょう?
今回のエッセイ特集のような出来事が起きて
いたとしたら人生は物語
では、また来年お会いしましょう!

Twitter → @densuke_neko

